

企画展

結城秀康・松平忠直と重臣多賀谷氏

- 主催 福井市立郷土歴史博物館
- 会場 1階松平家史料展示室
- 会期 平成29年5月31日(水)～7月18日(火)
休館日7月10日(月)

福井藩の初代藩主結城秀康と2代藩主松平忠直、そして両方に仕えた重臣多賀谷氏に関する資料を展示して、藩政初期の福井藩やそれぞれの人物の事績などについて紹介します。

結城秀康

結城秀康は、天正2年(1574)に徳川家康の2男として誕生しました。同12年に父家康と織田信雄の連合軍が、羽柴(豊臣)秀吉の軍と小牧・長久手で戦い、その後の講和によって秀康は秀吉の養子となりました。さらに同18年には、下総国結城(現茨城県結城市)の武将、結城晴朝の養子となり、結城城主となっています。

慶長5年(1600)、天下分け目の関ヶ原の戦いが起こりましたが、この時秀康は家康の命令で関東に残り、上杉景勝の押さえをしていました。関ヶ原で東軍(徳川方)が勝利した結果、秀康はその功績が認められて、越前一国(68万石)を拝領し、初代福井藩主となりました。

翌6年に越前へ初入国した秀康は、直ちに家臣の知行割を行い、領内の要地に重臣たちを配置しました。また、拠点となる北庄城(福井城)の大改修や城下町の整備に取り掛かり、領国支配に力を注ぎました。しかし、次第に病気勝ちとなり、同12年に北庄城中で34歳という若さで亡くなりました。



結城秀康小像 越葵文庫



茶壺(初花) 越葵文庫

松平忠直

松平忠直は、文禄4年(1595)に結城秀康の嫡子として誕生しました。慶長12年(1607)に父秀康が死去したことから、13歳で2代福井藩主(68万石)となり、同16年には將軍徳川秀忠の3女勝姫と婚姻しています。その翌年、藩内では家臣の間で大きな争い(久世騒動)が起こり、この時は幕府の裁決によっておさめることができました。

同20年(=元和元年)に大坂夏の陣が起こると、忠直は越前の軍勢を率いて真田信繁(幸村)隊などと戦い、大坂城一番乗りをするなど、大きな戦功を挙げました。その後、領内の今立郡鳥羽野(現鯖江市)の葦原の開発にも力を注ぎましたが、江戸への参勤を怠るなど、次第に身勝手な振るまいが目立つようになり、元和9年(1623)、幕府は忠直に対して隠居を命じ、豊後国萩原(現大分県大分市)へ配流します。一伯と号した忠直は残りの人生を豊後の地で過ごし、慶安3年(1650)に56歳で亡くなりました。

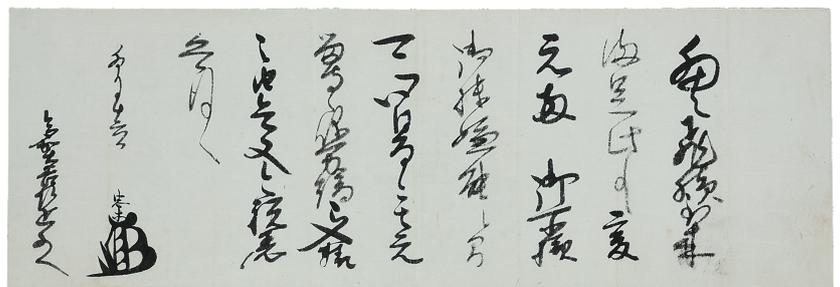
重臣多賀谷氏

多賀谷氏は、下総国の結城氏の重臣で常陸国下妻(現茨城県下妻市)城主でした。戦国期に活躍した多賀谷重経の時代には、結城氏だけでなく戦国大名の佐竹氏にも属し、その勢力を拡大していきます。

天正6年(1578)に重経の嫡子三経が誕生しましたが、同18年に豊臣秀吉の命によって、三

経は結城氏に属することとなり、重経の養子となっていた宣家(佐竹義宣の弟)は、佐竹氏に属することになりました。その後重経は宣家に家督を譲って隠居しましたが、宣家は関ヶ原の戦いの後に改易されました。

結城秀康に仕えた三経(左近・左近大夫)は、秀康の越前移封に従って、慶長6年(1601)に越前へ入国し、3万石(後に2千石を加増)の知行を与えられました。知行地は越前の北部地域にあり、館を柿原(現あわら市)に構えました。これは加賀国境の防衛を



松平忠直書状 多賀谷博子氏蔵

任されたためです。

なお、秀康の家臣団の中に、「結城四老」(多賀谷・山川・水谷・岩上)と呼ばれる結城家譜代の家がありましたが、その中で多賀谷氏だけが3万石を超える高禄を得ていました。

同12年、秀康の後を追うかのように三経が41歳で死去すると、嫡子^{やすつね}泰経(左近)が家督を継ぎました。泰経は同20年の大坂夏の陣で多くの首級をあげるなど、武功を立てましたが、翌元和2年(1616)に19歳の若さで死去しました。当時泰経には実子がなく、養子^{つねまさ}の経政がおりましたが、家督を継ぐことはなく、家は廃絶しました。その後、経政の子が秀康の5男松平直基に召抱えられ、前橋松平家の家臣として家は存続しました。

出品目録

資料名	点数	所蔵者
結城秀康		
○誕生から結城城主時代		
1 御家譜 一	1冊	越葵文庫 当館保管
2 御当家並越前松平家系図	1巻	越葵文庫 当館保管
3 結城秀康小像	1点	越葵文庫 当館保管
4 結城秀康書状(徳川秀忠宛)	1通	越葵文庫 当館保管
5 徳川家康書状(結城晴朝宛)	1幅	越葵文庫 当館保管
6 伊達政宗書状(結城秀康宛)	1通	越葵文庫 当館保管
○越前国拝領以降		
7 徳川秀忠書状(結城秀康宛)	1幅	越葵文庫 当館保管
8 徳川秀忠画像	1額	福井市春嶽公記念文庫
9 家譜 一 秀康公	1冊	越葵文庫 当館保管
10 中納言様御給帳	1冊	当館蔵
11 福井(北庄)城御天守絵図写	1枚	当館蔵
12 福井藩大馬印	1基	越葵文庫 当館保管
○秀康にまつわる遺品		
13 直槍(伝結城秀康所用)	1筋	越葵文庫 当館保管
14 竹鞭(伝結城秀康所用)	1条	越葵文庫 当館保管
15 書(「安国」)	1幅	越葵文庫 当館保管
松平忠直		
○藩主就任から大坂の夏の陣		
16 家譜 二 忠直公	1冊	越葵文庫 当館保管
17 今村盛次・本多富正連署掟	1通	多賀谷博子氏蔵
18 松平忠直知行宛行状(中根孫右衛門宛)	1幅	福井市春嶽公記念文庫
19 北庄家中図写	1幅	越葵文庫 当館保管
20 大坂夏の陣図屏風(複製)	半双	当館蔵(原本は大坂城天守閣蔵)
21 茶壺(初花)	1口	越葵文庫 当館保管
重臣多賀谷氏		
○秀康・秀忠と多賀谷三経		
22 代々書付控	1通	多賀谷博子氏蔵
23 中納言秀康卿分限帳	1冊	当館蔵
24 結城秀康知行宛行状写(慶長6年)	1通	多賀谷博子氏蔵
25 結城秀康知行宛行状(慶長9年)	1通	多賀谷博子氏蔵
26 柿原給帳	1冊	多賀谷博子氏蔵
27 結城秀康書状(多賀谷左近宛)	1通	多賀谷博子氏蔵
28 徳川秀忠御内書	1巻	多賀谷博子氏蔵
○忠直と多賀谷泰経		
29 松平忠直書状(多賀谷左近宛)	1通	多賀谷博子氏蔵
30 卯年天王寺表御合戦備図	1幅	当館蔵
31 大坂御陣首注文之抜書	1通	当館蔵

【次回の展示】

「福井藩の藩校 明道館、明新館」

7月21日(金)～9月18日(月・祝)
(休館日)8月28日(月)・29日(火)

松平家史料展示室 展示解説シート No.105
平成29年5月31日発行

福井市立郷土歴史博物館

〒910-0004 福井市宝永3丁目12-1
電話 (0776) 21-0489 FAX (0776) 21-1489
担当 印牧信明

印刷 宮本印刷